

第1回やすらぎ堤デザイン検討委員会資料

平成26年2月5日(木)

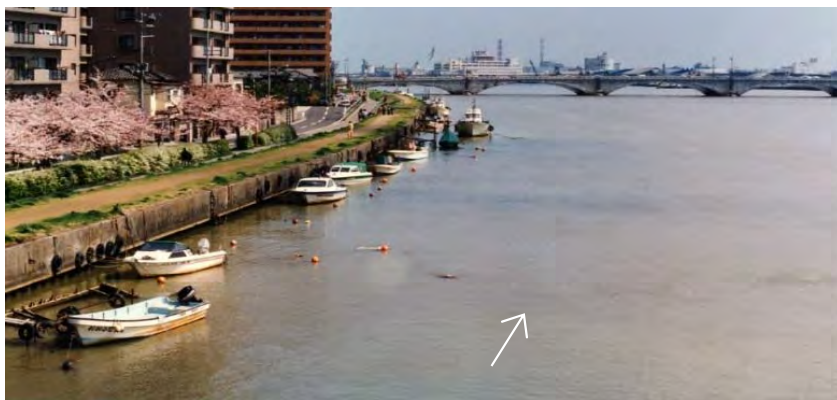
やすらぎ堤と現地視察の概要について

(目次)

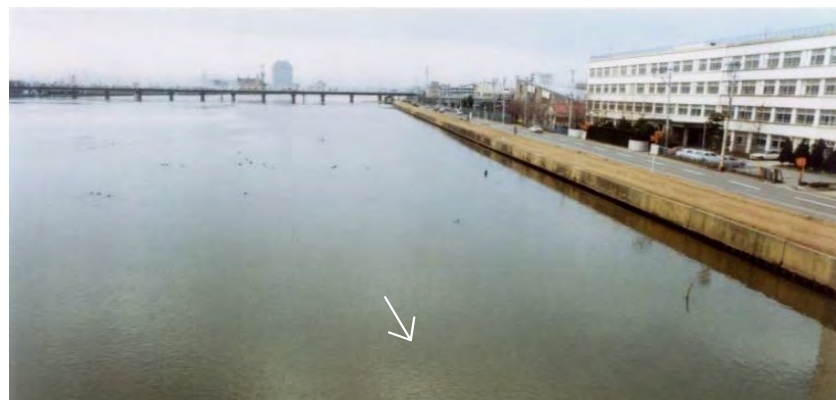
1.	やすらぎ堤の概要	
▪	やすらぎ堤の整備状況 -----	1
▪	過去に開催した懇談会等による整備方針 -----	3
▪	利用状況 -----	4
▪	やすらぎ堤の空間構成 -----	7
2.	現地視察の概要	
▪	行程 -----	8
▪	やすらぎ堤の現状 -----	9
▪	設備等の状況	
①	護岸 -----	12
②	植生 -----	14
③	船舶利用施設 -----	15
④	転落防止柵 -----	16
⑤	車両進入路(河川管理用通路) -----	17
⑥	通路 -----	18
⑦	公園施設 -----	19
⑧	堤防への連絡通路 -----	21
▪	千歳大橋下流右岸の工事概要 -----	22

- 昭和58年度から本川下流河川改修に着手して以来、順次整備がすすめられ、現在のやすらぎ堤の整備率は80%となっている。

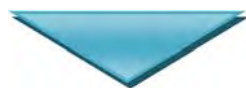
■ 萬代橋左岸上流



■ 昭和大橋左岸上流



整
備
前



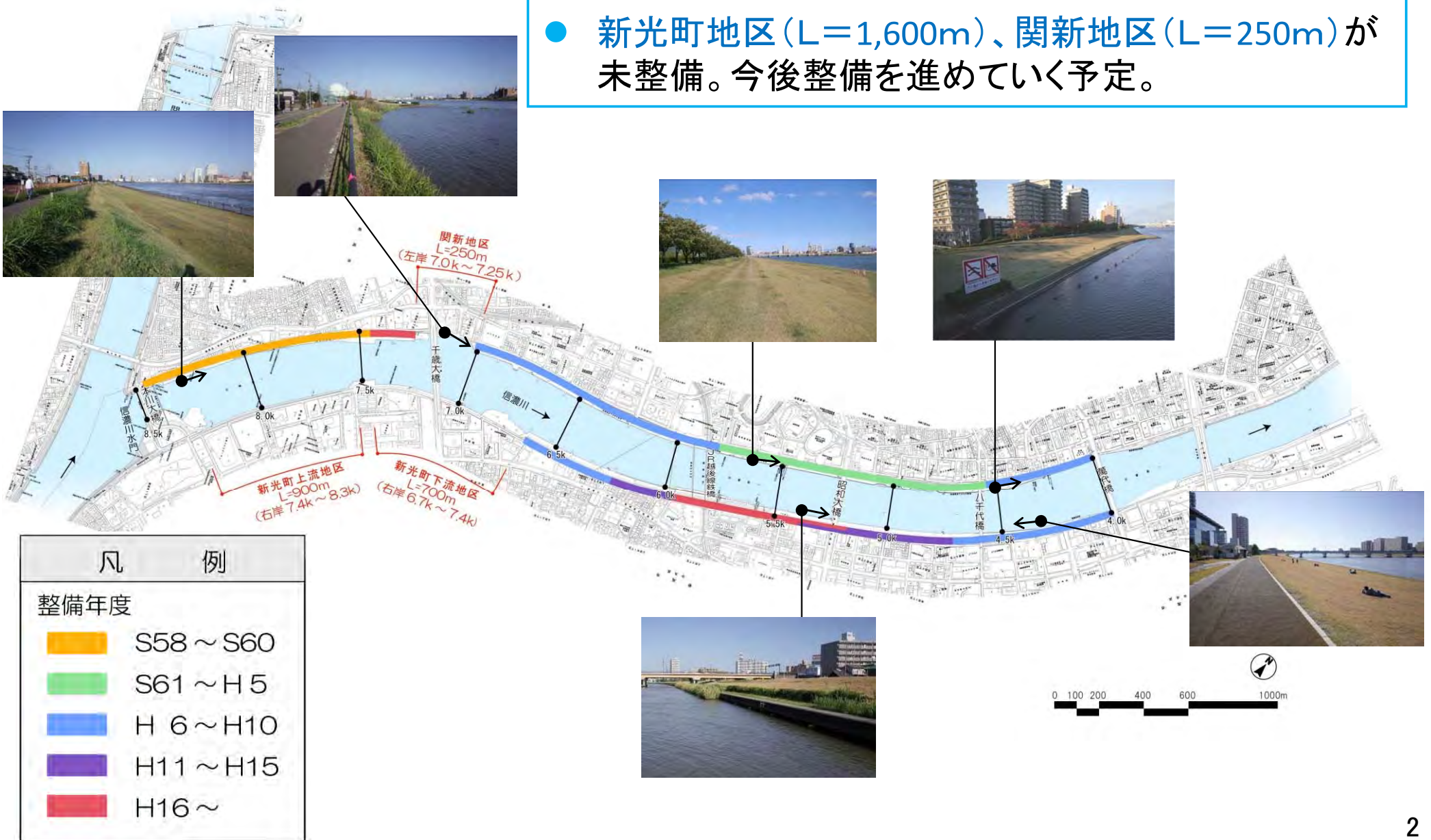
整
備
後



やすらぎ堤の整備状況

【やすらぎ堤の概要】

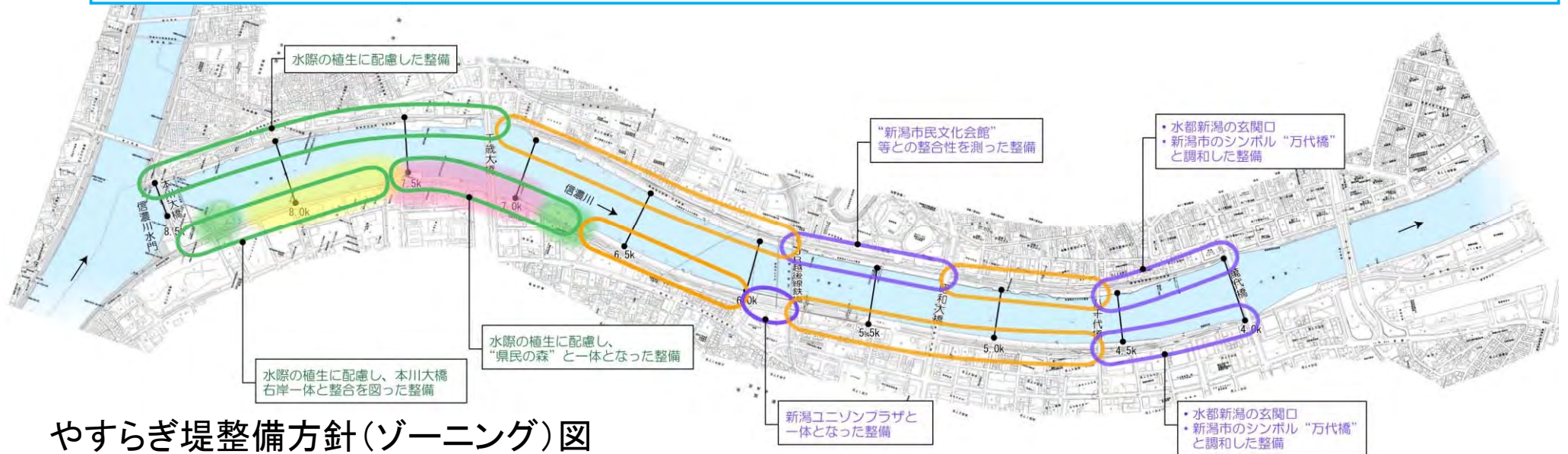
- やすらぎ堤区間は、
延長4.5km(信濃川水門～萬代橋)の区間。
- 新光町地区(L=1,600m)、関新地区(L=250m)が
未整備。今後整備を進めていく予定。



凡 例	
整備年度	
	S58 ~ S60
	S61 ~ H5
	H6 ~ H10
	H11 ~ H15
	H16 ~

過去に開催した懇談会等による整備方針 【やすらぎ堤の概要】

- 平成8年度(やすらぎ堤整備懇談会) →やすらぎ堤区間全体の整備方針
- 平成12年度(やすらぎ堤を考える会) →未整備(新光町)区間の整備の方向性



やすらぎ堤整備方針(ゾーニング)図

※この図は「やすらぎ堤を考える会」で出た多様な意見を盛り込んでまとめたものです。
植樹等は河川管理上の制約を考慮しておりません。



既設～中央病院下流
(H12)



中央病院下流～
県庁前上流(H12)



信濃川水門下流付近
(H12)

H8整備方針

- 水辺植生配慮区間
- 拠点区間
- 利用区間

H12整備の方向性

- 現況自然植生の保全を考えるゾーン
- 親水利用の促進を考えるゾーン
- 水辺の自然化と親水利用の中間的なゾーン

利用状況（イベント等）

【やすらぎ堤の概要】

- 萬代橋～八千代橋、りゅーとぴあ周辺で多くのイベントが開催。
- 春～秋に開催されるイベントが多い。



Event Calendar	
冬	1月 消防出初式
春	4～5月 にいがた春咲きフェスタ
	4～5月 萬代橋チューリップフェスティバル
	5月 信濃川感謝祭・やすらぎ堤川まつり
夏	5月 みなと新潟春フェスタ
	6月 新潟アカリプロジェクト
	6～9月 萬代橋サンセットカフェ
	8月 灯籠流し
	7～9月 萬代橋イルミネーション
	8月 萬代橋誕生祭
	8月 にいがた祭り
8月 まちなかアウトドア	
秋	9月 みなと水遊記
	10月 What's NIIGATA セレモニー
冬	10月 まちなかピクニック
	11～12月 NST リバーサイドクリスマス



利用状況（スポーツ等による利用） 【やすらぎ堤の概要】

- スポーツや遠足等では、整備済み区間全体が使用されている。



- 区間内をウォーターシャトルが航行する他、水面は、漁業、ボートで使用。
- 区間内には、暫定係留施設や船着き場が配置。



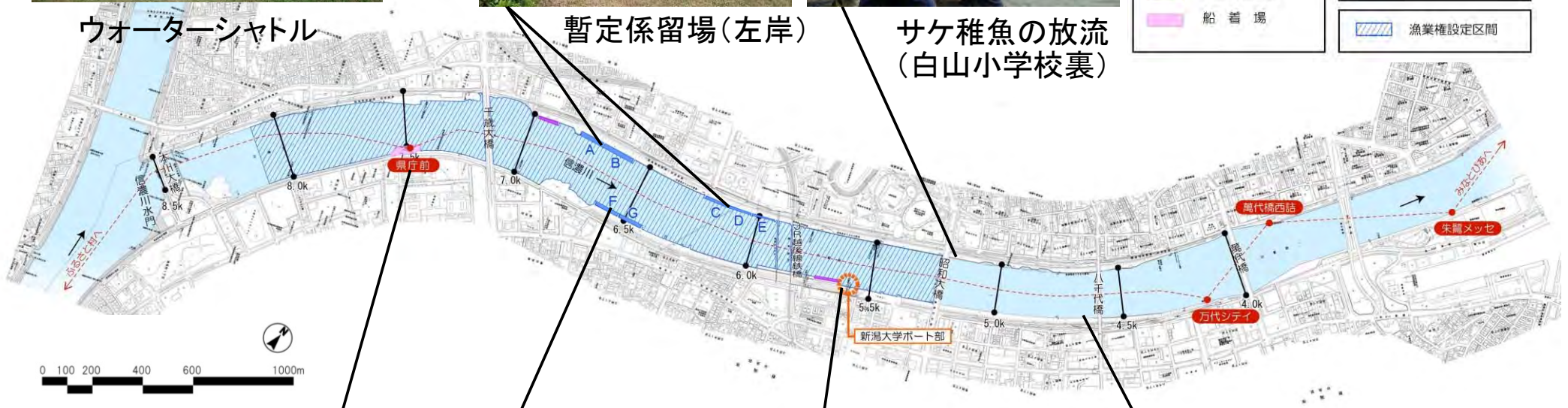
ウォーターシャトル



暫定係留場(左岸)



サケ稚魚の放流
(白山小学校裏)



船舶利用施設		ウォーターシャトル	
	暫定係留場		乗船場
	漁船仮係留場		運行ルート
	船着場		漁業権設定区間



防災船着場(県庁前)



暫定係留場(右岸)

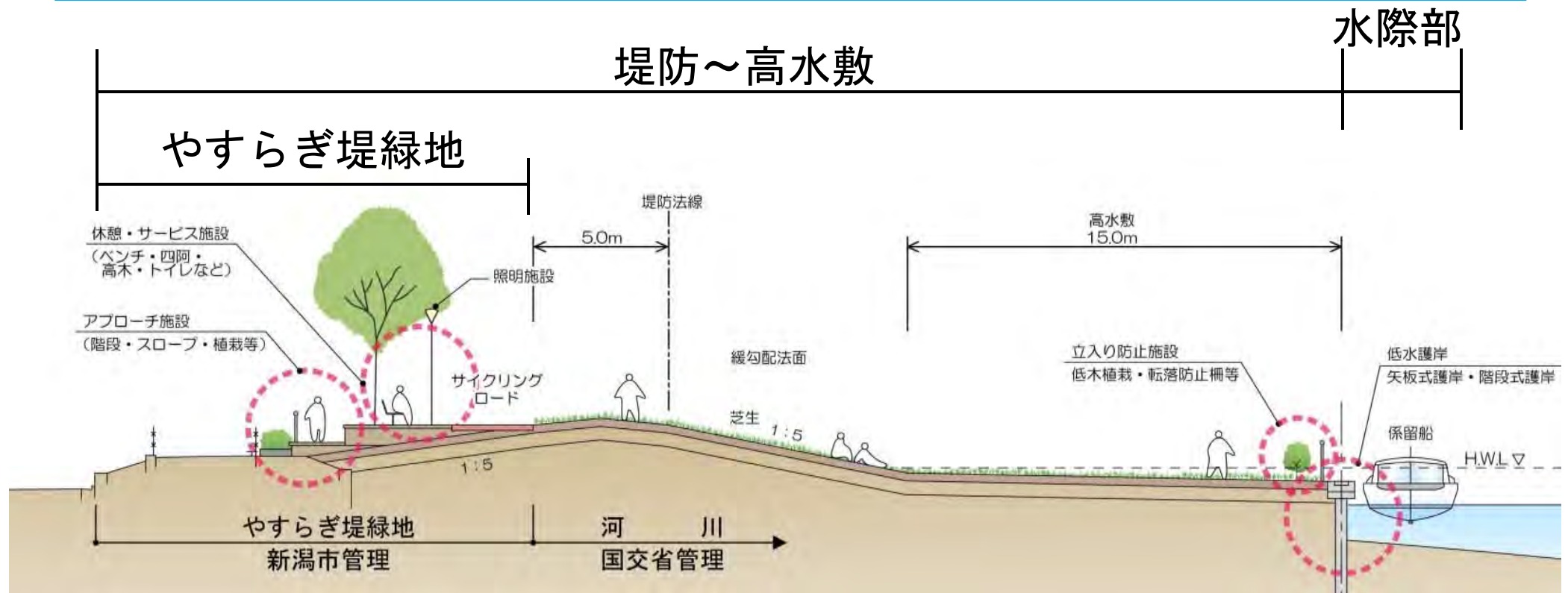


新潟大学ボート部

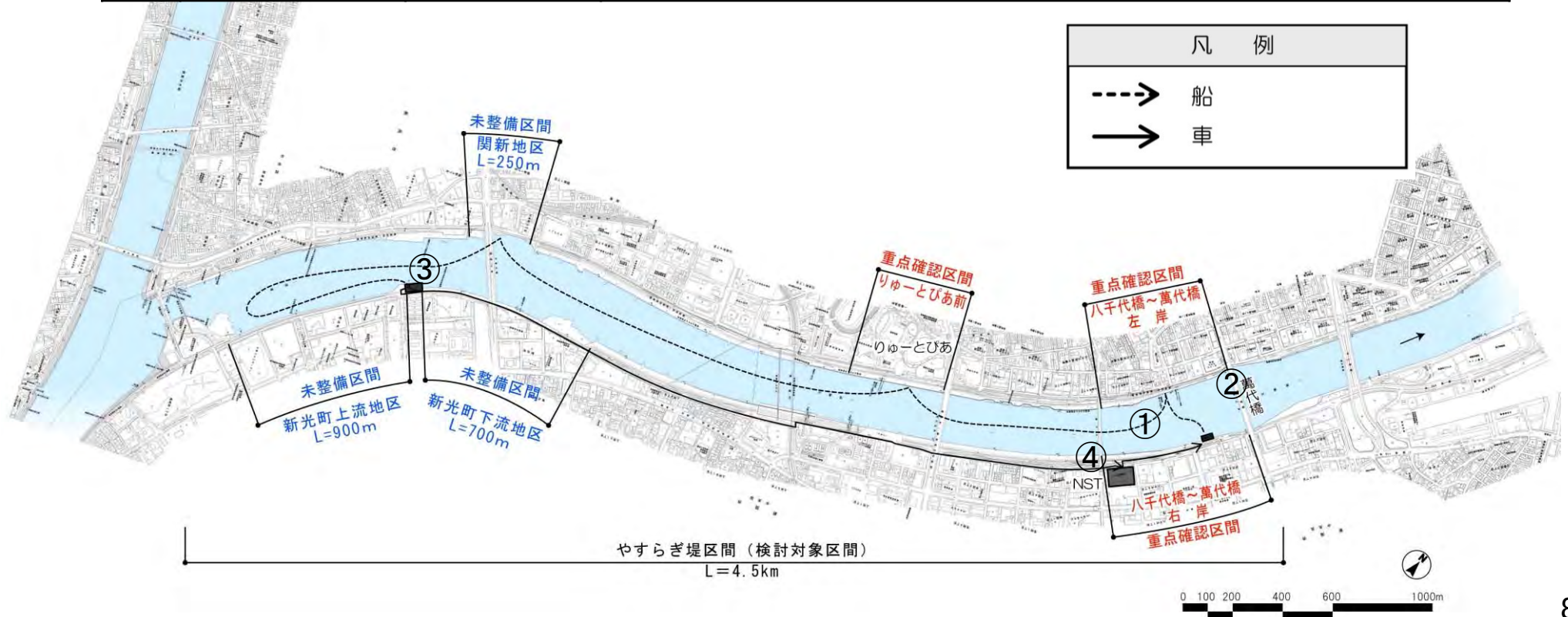


サケ稚魚の放流
(南万代小学校裏)

- やすらぎ堤は、主に、水際部（護岸、植生、転落防止柵等）、堤防～高水敷（通路等）、やすらぎ堤緑地で構成される。
- やすらぎ堤緑地は河川区域の一部を新潟市が占用し、整備・管理している都市公園。
- 洪水時には、高水敷まで水が流れる。



	LAP	場所	内容(視察のポイント)
①	12:00~ 12:40	NST会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・(昼食) ・現地視察の見どころ
②	12:40出発 13:00(上船)	(往路:船)	<ul style="list-style-type: none"> ・八千代橋～萬代橋(重点確認区間) ・りゅーとびあ前(重点確認区間)
③	13:50(下船) 14:10NST着	(復路:車)	<ul style="list-style-type: none"> ・関新地区(未整備区間) ・新光町地区(未整備区間) ・護岸、植生、転落防止柵、通路、やすらぎ堤緑地
④	14:30~ 16:30	NST会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・やすらぎ堤デザイン委員会



やすらぎ堤の現状（下流）

【現地視察の概要】

①



平成23年9月撮影

重点確認区間

②



平成23年9月撮影

③



サイクリングロード

重点確認区間

④



サイクリングロード

⑤



平成23年9月撮影

ヘリポート

←→ 未整備区間

①護岸

【現地視察の概要】

- 護岸は水際の水深や利用方法に応じて、4つのタイプで整備。



A. 控え杭式矢板護岸



B. コンクリートブロック基礎矢板形式

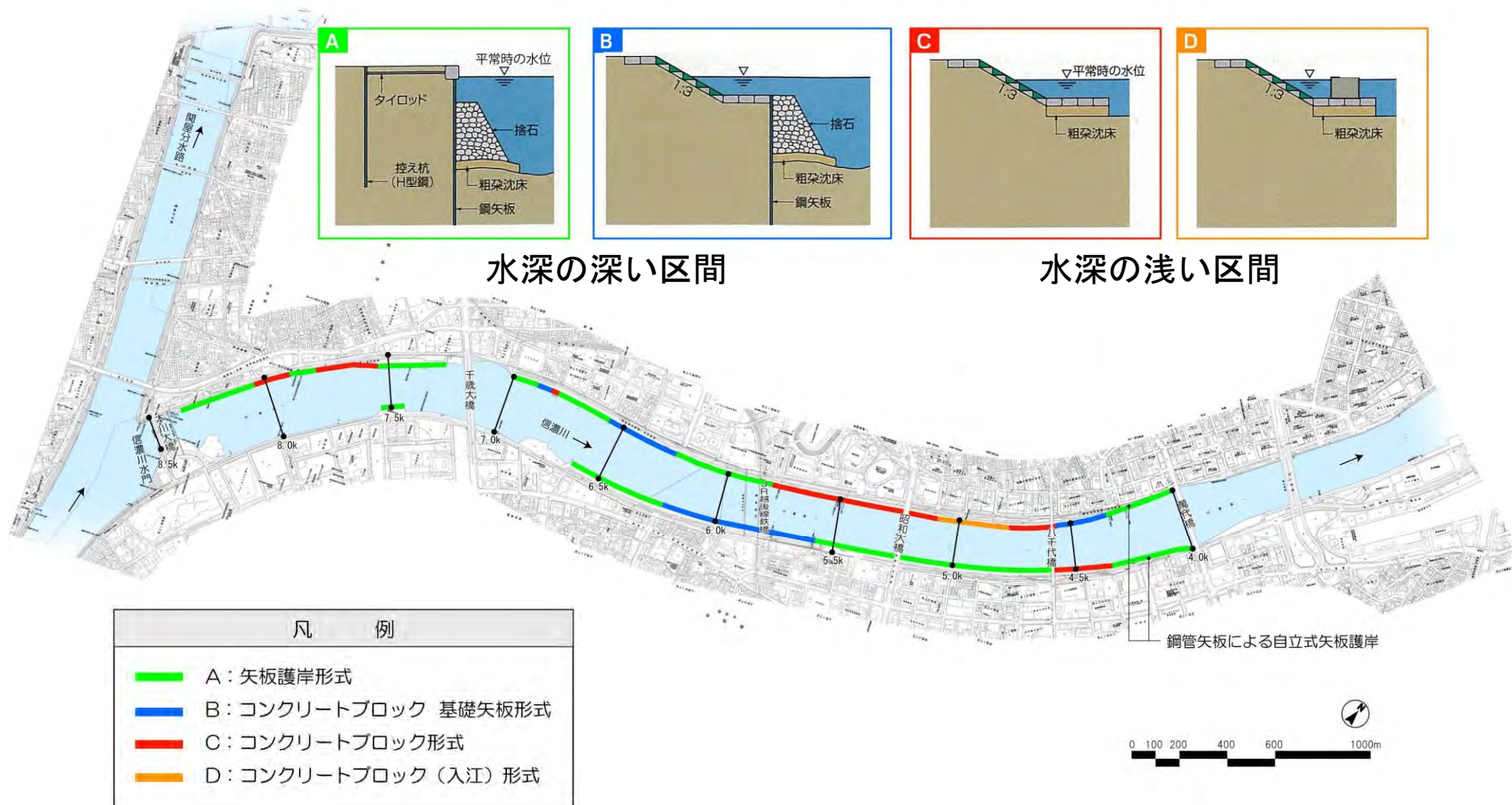


C. コンクリートブロック形式



D. 入江 (コンクリートブロック形式)

- 護岸のタイプ別の分布は、下図のとおり。



②植生

- 水際に、木枠や木板で防波した抽水植物(マコモ)の植栽を配置した区間がある。ヨシは防波設備なしでも群落を形成。
- 堤防未整備区間等には、ヨシ原やヤナギの自然の群落が形成。



マコモ(木枠防波タイプ)



マコモ(木板防波タイプ)



ヨシ(防波設備なし)



人工ヨシ原



ヨシ原等の自然地

- 中流部に、暫定係留施設が存在。護岸は、河川管理者が整備し、棧橋等を新潟市土地開発公社が整備し占用。
- 暫定係留施設の周囲は、関係者以外の立ち入りや転落を防止するため、生け垣や柵などを設置している。
- 防災船着場は、災害時の行政機関の利用の他、平常時にウォーターシャトルの発着場として利用されている。
- 最上流部左岸に河川管理用の船舶を下す斜路を設置。



暫定係留施設



防災船着場



斜路

④ 転落防止柵

- 直立護岸区間には転落防護柵として、萬代橋周辺等には鋼製防護柵を、係留施設前や中流の区間には生け垣を設置。
- 鋼製防護柵についても区間により形状、タイプが異なる。



防護柵(木柵＋生垣)



防護柵(鋼製防護柵、縦棧)



防護柵(鋼製防護柵、横棧)

⑤車両進入路（河川管理用通路）【現地視察の概要】

- 一部の区間には、堤内から堤外に進入できる河川管理用通路が整備されている。
- 通常のアスファルト舗装の他、芝生保護マットが敷設されている。



芝生保護マット

- 遊歩道として大部分の区間でゴムチップ舗装がされている。色は下流が黄土色、上流がベージュ。
- 萬代橋～八千代橋の区間では、自然石舗装（平板、小舗石）。



舗装(自然石平板舗装)



舗装(ゴムチップ舗装、ベージュ)



舗装(ゴムチップ舗装、ベージュ・黄土色)

⑦公園施設(1)休憩施設・トイレ等 【現地視察の概要】

- ベンチ・四阿は、やすらぎ堤緑地内に区間(橋梁間)毎におよそ1基~複数基が設置されており、形式は様々である。
- トイレはやすらぎ堤緑地に設置されている。



区間全体に配置されているベンチ



四阿(四角錐、柱白タイプ)



トイレ・自動販売機

⑦公園施設（２）植栽、照明、看板 【現地視察の概要】

- 照明は、萬代橋のガス灯を模したシンプルな形状のものが多い。
- 案内、説明、記名など様々なサインがあり、色調や字体などに統一感がない。



植栽



照明



看板・案内サイン

⑧堤防への連絡通路

【現地視察の概要】

- 堤内地から自動車道を横断する歩道橋や橋梁から堤防に降りる階段等が整備されている箇所がある。



万代シティBP2からの歩道橋



りゅーとぴあからの大型階段



昭和大橋からの階段

白山駅からの
連絡通路

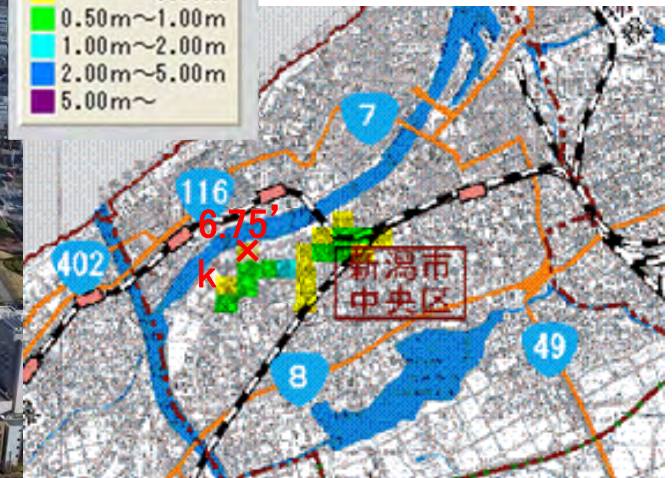
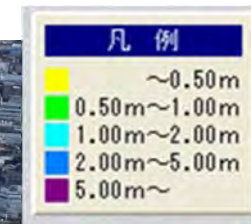
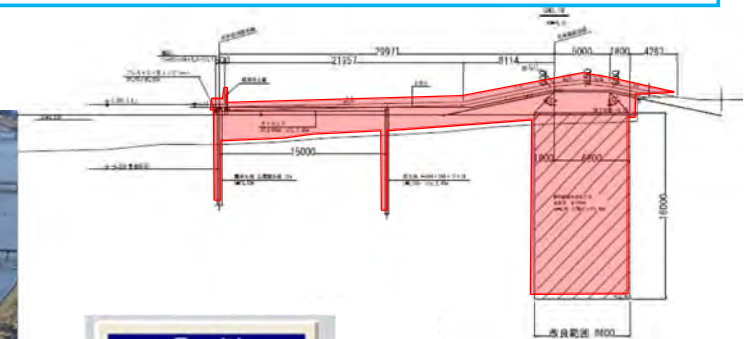


NSTからの歩道橋

八千代橋からの階段

千歳大橋下流右岸の工事概要

- 新光町地先は、背後地に新潟県庁などの重要施設が多く立地。
- 堤防が未整備であり、平成23年7月新潟・福島豪雨でも、危険な状態となったことから、平成25年から、堤防の整備を実施中。



新潟市中央区新光町地先 (H23.7出水時)

